

千葉さきえの

ネットの議員は市民と議会・行政をつなぐパイプ役、市民が主役の政治を

活動報告



発行：江東・生活者ネットワーク 発行責任者：千葉早希恵 〒136-0072 東京都江東区大島4-7-3 tel.3636-9044

区議会報告

2021年

第1回

定例会

2/24~3/30

令和3年度予算審査特別委員会

男女共同参画相談事業 性別を問わない相談窓口を

2021年度から、「女性のなやみとDV相談」に加えて、新たに男性DV相談とLGBT等相談を開始。それぞれ月1回4時間の電話相談として窓口を設置することとなった。

区は性別を問わずDV相談ができる体制を構築するとしているが、女性と男性に分けることとなった理由を問うと、女性DV被害者の安心と安全を最優先に考慮したとの答弁。「女性のなやみとDV相談」には年間400件以上の相談・面談があり、女性を不安にさせない配慮がくみ取

れる。

しかし、性別で分けることで、トランスジェンダーなどの性自認や性的指向によっては相談しにくいこととなる。区民からは「性別を問わないDV相談窓口の設置」を求める陳情が出されている。相談の最初の入口として心理的な負担を減らすために、性別を問わない誰でも相談できる窓口が求められる。今後の事業実施を検証していく。

子育て家庭見守り支援 アウトリーチ型で拡充

子育ての困りごとに寄り添い孤立させないために、新たに大島子ども家庭支援センター（みずべ）に訪問支援ワーカーを配置し、子育て家庭の自宅を訪問

するアウトリーチ型支援を開始する。虐待に至る前に、孤独感や負担感の軽減に努めることが目的。

地域の子育て支援には、みずべのほか、保育園や幼稚園のひらば事業などがあるが、訪問支援ワーカーは、孤立した親子への1対1の支援だけではなく、できるだけ多く地域とのつながりをつくるのが重要。その一つとして妊娠期からの切れ目のない支援に欠かせない保健相談所との連携を質したところ、日頃から保健師と虐待対応ワーカーは情報共有を行っているとの答弁。毎年600件以上の新規虐待ケースがあり、それを食い止めるために新規事業に注目し期待したい。

ICT教育、教育情報推進事業 全児童生徒にタブレット配布

国が提唱するGIGAスクール構想の実現に向け、江東区はタブレット端末の配布や教室の

ネットワー環境整備などを順次実施。初期経費で21億3300万円の予算を投じる。ランニングコストは電気代を除いておおよそ10億6200万円。

授業実施に際して、当面は子どもも端末の扱いなどに慣れず、さまざまなトラブルが起こり混乱が予想され、教員の負担は大きい。人員配置を含めた対策を質したところ、都から月5回派遣されるICT支援員や以前から江東区独自に配置しているスタンダード強化講師が授業をサポートするとの答弁。

新型コロナウイルス感染症の影響で加速されたICT教育だが、教育の現場にいる子どもと教員の立場に立った丁寧な実施と検証が必要。

教育情報化によって授業以外にも教員の事務負担が増えることが予想される。子どもにも向き合う時間を確保するために負担の軽減を求めた。

千葉さきえの フットワーク

2/17 介護保険制度改正について学ぶ

講師：服部万里子さん
主催：介護の崩壊をさせない実行委員会

介護保険制度は3年毎に見直され法改正は6回目。今回は新型コロナウイルスの影響から負担増や介護サービスの削減など大きな制度変更はすべて先送りとされました。介護現場で働く参加者からも「制度が複雑化して、介護者も利用者も制度を追いかけるのが難しくなっている」「今回はコロナの影響でプラス改定だが、次回は厳しくなるかもしれない」との声も。ケアプランが利用者にとって最適かどうかの判断をすることすら難しい制度になっているのではないかと感じました。

財政事情優先の改正ではなく、利用者が利用しやすい持続可能な制度となることが重要です。

2/22 「有機農産物の学校給食での使用 ネットワーク化についての意見 交換会」

主催：名古屋大学 大学院環境学研究科附属
持続的共発展教育研究センター

農業や化学肥料、除草剤を使わずに自然本来の力をいかにしながら育てた有機農産物を学校給食に導入する動きが全国的にひろがりを見せています。愛知県東郷町では「日本一おいしい給食」を掲げ、味だけではなくより安心安全な有機農産物を使用。宮崎県綾町は30年前から自然生態系を考慮した独自の基準を設け地元農産物を給食に使用し地産地消で安定的な供給ネットワークができています。有機給食の課題として虫の混入や規格の不揃い、供給量などがあげられ、子どもへの教育や保護者、地域の理解が必要になります。江東区に、食育推進の観点からも、まずは月に1回からでも有機給食の実施を求めていきたいと思ひます。



【アンケート】にご協力ください

●今後議会で質問に取り上げて欲しい項目に○をつけて下さい。

- 1.福祉・医療（認知症、在宅医療、介護など）
- 2.教育（いじめ、不登校、教育費など）
- 3.環境（香害、プラスチックごみなど）
- 4.子育て支援（保育園、小児医療、児童虐待など）
- 5.人権・男女共同参画（性暴力、LGBT、ワークライフバランスなど）
- 6.若者支援（就労支援、相談、居場所）
- 7.その他（ ）

●生活者ネットワークに対するご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。



ネットでの
ご回答は
コチラ!!

[よろしければお書きください]

お名前：
ご住所：
電話FAX：
メール：

★切り取ってハガキに貼り投函ください

都政情報

東京都子ども基本条例成立!

生活者ネットワークが長年求め続けてきた「東京都子ども基本条例」が議員提案により全議員の賛成でようやく成立しました。

子どもは社会の一員であり、あらゆる場面で権利の主体として尊重される必要があるとして「子どもを大切にす」視点が盛り込まれています。子どもの意見表明と参加については、環境の整備を

るとし、学校や地域社会の連携が示されています。既に条例をもつ西東京市では条例の具現化には教育委員会との連携が欠かせず、教育現場への浸透にむけ繰り返し啓発、研修が行われています。

あらゆる施策に子どもの声を反映し、子どもを大切にす視点をもつ江東区子ども条例策定を求めています。